

**伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針
（後期方針 旧市街地地区（北中学校再編版））**

～ 子供たちのより良い学びのために ～

令和 7 年 1 0 月

伊東市教育委員会

目 次

はじめに	1
1 生徒数の現状と将来推計	3
2 北中学校の生徒数の今後の見通しと具体的方策	5
3 北中学校の再編を進めるに当たっての配慮事項	5

資料編

1 令和7年度 児童生徒数及び学級編制表	8
2 部活動一覧（令和7年度4月時点）	9
3 北中学校再編までの相関図	9
4 教育問題懇話会の審議状況（令和6年度）	10
5 後期方針（案）に関する各地区説明会実施状況	11
6 北中学校再編に伴う住民・保護者説明会資料	13

はじめに

伊東市教育委員会は、子供たちに対して将来に渡ってより良い教育環境を提供するため、令和元年８月に「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針」（以下「基本方針」という。）を策定しました。

基本方針においては、まずは小学校生活の６年間の様々な経験の中で「変化に向き合う力」を身に付けることで、子供たち一人一人が予測できない変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程をとおして、自らの可能性を発揮していけるようになってもらいたいという考えの下、令和３年４月に川奈小学校と南小学校の２校を１校に、令和５年４月に東小学校、西小学校、旭小学校の３校を１校（以下「伊東小学校」という。）に統合してまいりました。

また、基本方針においては、宇佐美地区（宇佐美小学校・宇佐美中学校）、旧市街地地区（北中学校）、市街地近郊の住宅地区（大池小学校・南小学校・南中学校・門野中学校）及び対島地区（八幡野小学校・富戸小学校・池小学校・対島中学校）については、今後の児童生徒数の推移に注視しながら、改めて後期の方針として具体的な対応内容を策定するとしていたことから、令和６年８月、教育問題懇話会に、「本市の目指すべき適正な教育のあり方」と「その実現に向けた具体的方策」について諮問し、有識者等の委員によりご審議を重ねていただく中、令和７年２月に答申を受けたところです。

その後、教育問題懇話会からの答申を尊重し、総合教育会議での協議・調整を経て、伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針（後期方針）（案）（以下「後期方針（案）」という。）を策定し、各地区において説明会を行い、パブリックコメントにより意見を募集いたしました。

説明会では、様々な御意見をいただく中で、特に宇佐美地区、対島地区の学校再編においては反対を含め多くの御意見がありました。説明会での御意見を踏ま

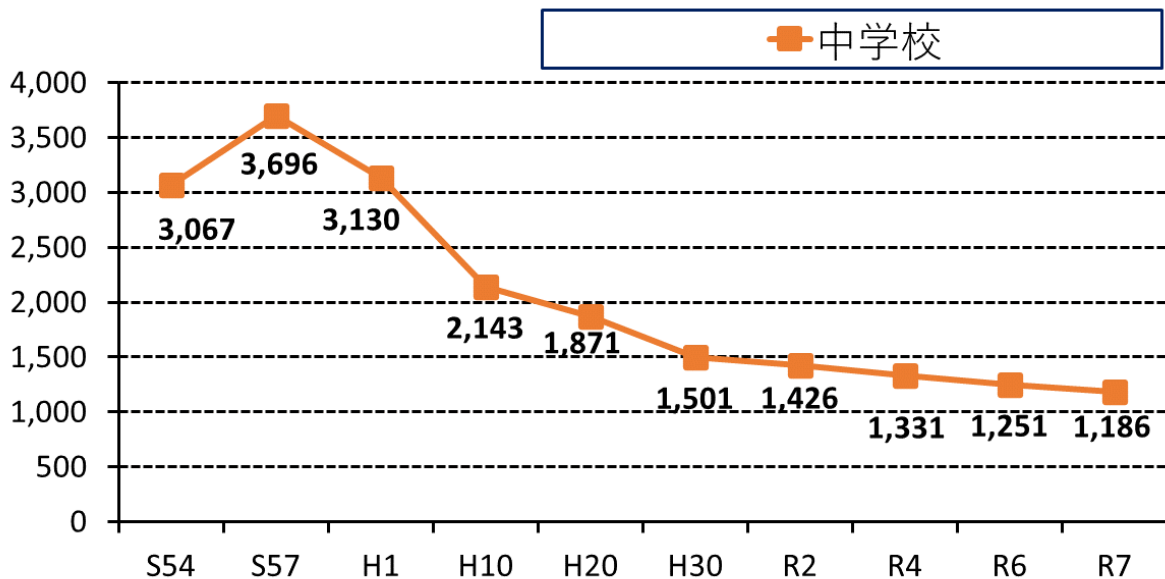
え、児童・生徒・保護者をはじめ地域住民の皆さんの十分な理解を得て進めて行くためには、さらなる意見交換等の機会が必要であるものと判断し、後期方針(案)全体を決定することは、見送るとの結論に至りました。

しかしながら、旧市街地地区である北中学校は、教育問題懇話会の答申の中にある「令和8年度末までに学校環境を整備し、再編」という情報が報道により先行し、現在混乱を生じさせている状況です。北中学校は、伊東小学校卒業後の進学先に含まれており、関係する児童・生徒・保護者のために速やかな対応が求められています。このため、小学校生活の6年間の様々な経験の中で身に付けた「変化に向き合う力」をさらに養うためには、なるべく多くの生徒・教員とともに学ぶ環境が必要であるとの考えの下、伊東市教育委員会は、北中学校を再編し、学校環境の整備を進めていくことにいたしました。

このことから、引き続き子供たちに対して将来に渡ってより良い教育環境を提供することを目的に、伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針（後期方針 旧市街地地区 （北中学校再編版））を策定します。

1 生徒数の現状と将来推計

(データ) 伊東市の生徒数の変遷



(1) 中学校の生徒数・学級数

中学校の生徒数は、昭和 57 年度のピーク時に比べて 3,696 人から令和 7 年度の 1,186 人（△68%）と減少しています。

学校別（昭和 57 年度と令和 7 年度を比較）では、北中学校は、門野中学校と分かれる前の人数ではあるものの 1,096 人から 87 人と 1,009 人の減（△92%）と著しく減少しております。

学校名	生徒数（人）				学級数 (特別支援学級含む)			
	S57	R7	増減	S57比較	S57	R7		増減
南中学校	1,534	526	-1,008	34%	38	21	(6)	-17
北中学校	1,096	87	-1,009	8%	26	5		-21
宇佐美中学校	667	154	-513	23%	16	7	(1)	-9
対島中学校	399	222	-177	56%	11	8	(1)	-3
門野中学校	－	197	－	－	－	7		－
	3,696	1,186	-2,707	32%	91	48	(8)	-43

※門野中学校は昭和62年度開校

(2) 児童生徒数の将来推計

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口※を基に本市の学校別の児童生徒数を算出すると、この減少傾向は今後加速度的に進むことが分かります。

※令和2（2020）年の「国勢調査報告」を基に、令和32（2050）年までの5年ごと30年間に集計している。

（データ）伊東市の児童生徒数の将来推計

⇒令和2年度の各学校の人数を基準（100％）とし、令和7年度は実績値、令和12年度は推計値、その後は、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口と同様の減少率の差を用いて算出

22208 伊東市

男女計	2020年 (令和2)	2025年 (令和7)	2030年 (令和12)	2035年 (令和17)	2040年 (令和22)	2045年 (令和27)	2050年 (令和32)
総数	65,491	62,084	58,442	54,824	51,213	47,590	43,974
0～4歳	1,380	1,098	1,056	1,007	917	790	656
5～9歳	1,837	1,408	1,129	1,090	1,044	952	823
10～14歳（小4～中2）	2,309	1,835	1,412	1,135	1,098	1,055	963
合計	5,526	4,341	3,597	3,232	3,059	2,797	2,442
減少率	100%	78.6%	65.1%	58.5%	55.4%	50.6%	44.2%

※減少率は、令和2（2020）年の0～14歳人口を100としたときの0～14歳人口の指数から算出している。

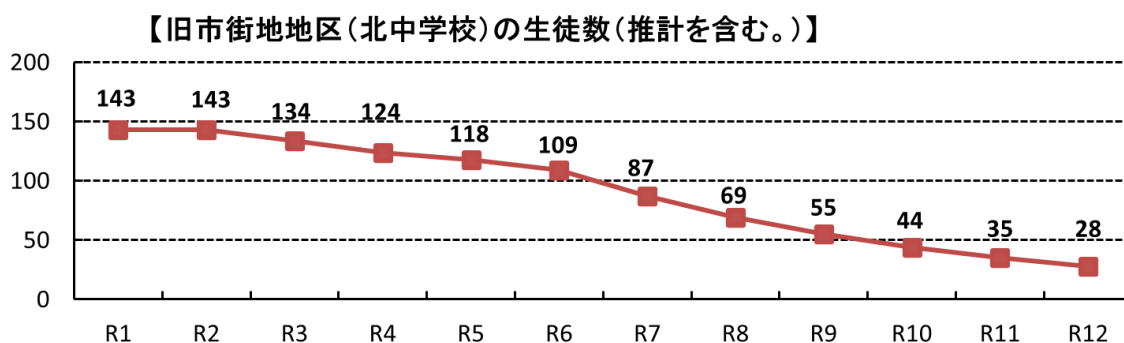
学校名	2020年 (令和2)	2025年 (令和7)	2030年 (令和12)	2035年 (令和17)	2040年 (令和22)	2045年 (令和27)	2050年 (令和32)
伊東小学校（東小学校）	189	466	307	326	306	275	234
西小学校	286						
川奈小学校	20						
大池小学校	379	350	246	192	180	162	138
宇佐美小学校	338	240	143	171	161	144	123
八幡野小学校	303	262	175	153	144	129	110
富戸小学校	106	72	47	54	50	45	38
池小学校	75	56	38	38	36	32	27
南小学校	598	477	326	303	284	255	217
旭小学校	170						
小学校計	2,464	1,923	1,282	1,237	1,161	1,044	887
南中学校	574	526	396	290	273	245	208
北中学校	143	87	82	72	68	61	52
宇佐美中学校	157	154	115	79	75	67	57
対島中学校	257	222	180	130	122	110	93
門野中学校	295	197	171	149	140	126	107
中学校計	1,426	1,186	944	722	677	609	518
合計	3,890	3,109	2,226	1,958	1,838	1,652	1,405
減少率	100%	79.9%	57.2%	50.6%	47.5%	42.7%	36.3%

※特別支援学級の児童・生徒数を含む。

2 北中学校の生徒数の今後の見通しと具体的方策

北中学校は、昭和62年度は584人で、同年度に創立された門野中学校（566人）とほぼ同規模でしたが、令和6年度は109人となり、門野中学校（226人）の約半分の規模となりました。令和7年度は、通学区域（学区）により就学する学校（指定校）が北中学校である生徒は31人でしたが、実際の入学者は11人となりました。1学年40人に満たない人数で推移することを予想していましたが、今後は1学年10人前後で推移していくものと思われ、令和9年度（2027年度）には全学年単学級となることは確実な状況です。

全学年単学級となった際の学校環境は、免許外教科担任による授業が多くなる可能性が高く、学校間での教育環境の格差が生じ得ることから、北中学校は令和8年度末までに学校環境を整備・再編し、新たな通学先は、令和9年度4月から南中学校又は門野中学校に変更できる等柔軟な対応をします。



3 北中学校の再編を進めるに当たっての配慮事項

伊東市教育委員会では、以下の点に配慮していきます。

(1) 通学に係る家庭での負担軽減及び送迎場所の確保

- ・ 通学路の安全性はもちろんのこと、スクールバスや通学用の路線バス・電車（以下「通学手段」という。）の確保、通学費の支援等の家庭の負担の軽減に努めます。また、通学手段の利用が難しい家庭においては、自家用車を利用しての通学が想定されることから、学校周辺に送迎場所を確保するよう努めます。

(2) 転校に伴う生徒の精神的負担の軽減

- ・ 学校環境の変化による生徒の戸惑いや不安に対しては、担任や学年主任、養護教諭、スクールカウンセラーが積極的に関わりを持つことで精神的負担の軽減を図り、安心できる学校環境作りに努めます。特に、3年生は、高校受験に支障を来さないよう、統合前より3校で連携を取りながら教育課程編成等に配慮してまいります。

(3) 北中学校と新たな通学先となる学校との事前交流

- ・ 閉校により転校する生徒が新たな学校環境に適応できるよう、学校間での事前交流を行います。

(4) 柔軟な指定校変更

- ・ 令和8年度に限り、北中学校新2年生と北中学区の新1年生は、令和9年度の北中学校の再編を理由に通学先を南中学校又は門野中学校に変更できる等柔軟な対応をします。

資 料 編

1 令和7年度 児童生徒数及び学級編制表

※（ ）は学級数

学校名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
伊 東 小	53 (2)	66 (2)	72 (3)	73 (3)	79 (3)	75 (3)	418 (16)
大 池 小	60 (2)	57 (2)	57 (2)	57 (2)	54 (2)	65 (2)	350 (12)
宇佐美小	31 (1)	35 (1)	38 (2)	30 (1)	50 (2)	45 (2)	229 (9)
八幡野小	40 (2)	38 (2)	42 (2)	42 (2)	50 (2)	48 (2)	260 (12)
富 戸 小	10 (1)	9 (1)	7 (1)	15 (1)	14 (1)	17 (1)	72 (6)
池 小	4 (1)	5 (1)	12 (1)	9 (1)	10 (1)	16 (1)	56 (6)
南 小	60 (2)	70 (2)	74 (3)	81 (3)	94 (3)	98 (3)	477 (16)
小学校計	258 (11)	280 (11)	302 (14)	307 (13)	351 (14)	364 (14)	1,862 (77)
南 中	156 (5)	159 (5)	175 (5)				490 (15)
北 中	11 (1)	37 (2)	39 (2)				87 (5)
宇佐美中	47 (2)	57 (2)	46 (2)				150 (6)
対 島 中	64 (2)	87 (3)	67 (2)				218 (7)
門 野 中	52 (2)	67 (2)	78 (3)				197 (7)
中学校計	330 (12)	407 (14)	405 (14)				1,142 (40)
							3,004(117)

※令和7年5月1日調査。ただし、特別支援学級を除く。

2 部活動一覽（令和7年度4月時点）

(1) 運動部

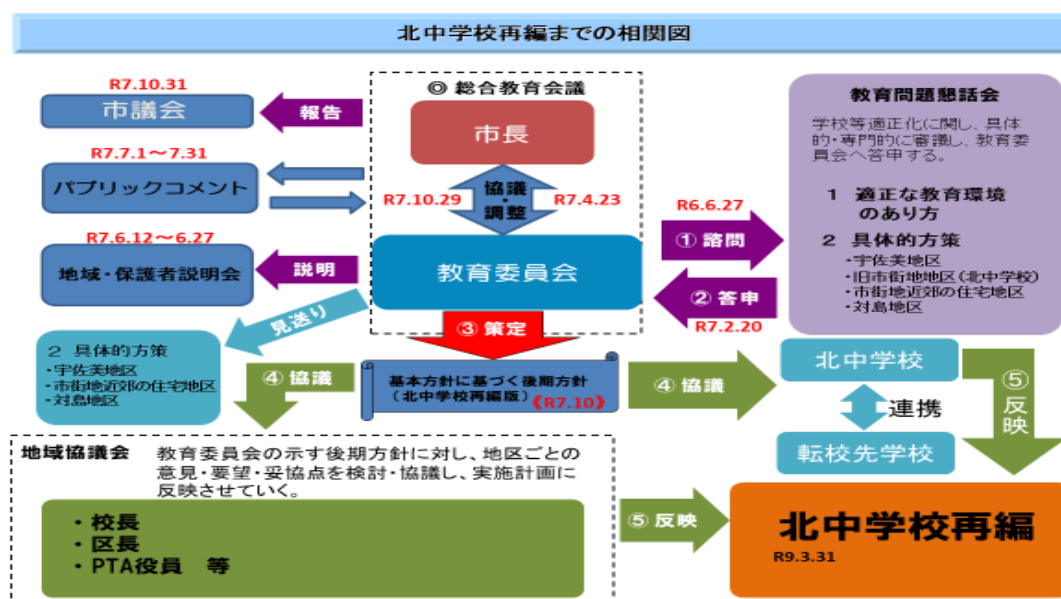
		南中	北中	宇佐美中	対島中	門野中
野球		○			●	●
ソフトテニス	男	○	○	○	○	○
	女	○	○		○	○
バレーボール	男	○		○		○
	女	○		○	○	○
バスケットボール	男	○	○	○	○	○
	女	●	●	○		●
卓球	男	○			○	
	女	○		○	○	
バドミントン	男	○				○
	女	○				○
サッカー		○				
水泳		○				
陸上		○			○	
ソフトボール		○				

(2) 文化部

	南中	北中	宇佐美中	対島中	門野中
吹奏楽	○	○	○	○	○
パソコン	○				○
美術	○	○	○	○	○
科学	○				

○は、各学校において単独で存在する部活動 ●は、合同で存在する部活動

3 北中学校再編までの相関図



4 教育問題懇話会の審議状況（令和6年度）

	日時・会場	議題
第1回	8月26日（月）5階中会議室 14:00～16:00	・「夢や希望を育む学校」の実現に向けた 適正な教育環境のあり方
第2回	10月1日（火）5階中会議室 14:00～16:00	・3校統合の検証報告について ・宇佐美地区、旧市街地地区の具体的方策
第3回	11月15日（木）第2委員会室 14:00～16:01	・市街地近郊の住宅地区、対島地区の具体的方策
第4回	12月24日（火）第2委員会室 14:00～15:18	・宇佐美地区、旧市街地地区、市街地近郊の住宅地区、対島地区の審議結果の確認について ・基本方針にある「市内中学校は北部と南部の2校程度に統合し、小学校は北部と中部と南部の3校程度に統合する」という構想について
第5回	1月27日（月）第2委員会室 14:00～14:42	・答申案について

※教育問題懇話会は、市議会、PTA、区長会、校長会、未来ビジョン会議から推薦いただいた皆様と学識経験者で構成し、御審議をいただきました。

5 後期方針（案）に関する各地区説明会実施状況

説明会対象地区（学校）	日時・会場	参加者数
北中学校	6月12日（木）市役所8階大会議室 19:00～19:54	23人
	6月13日（金）市役所8階大会議室 19:00～20:03	24人
対島地区（富戸区）	6月14日（土）富戸コミュニティセンター 19:00～20:23	44人
対島地区（池区）	6月21日（土）生涯学習センター池会館 19:00～20:08	23人
宇佐美地区	6月25日（水）宇佐美コミュニティセンター 19:00～20:05	18人
対島地区（八幡野区・赤沢区）	6月27日（金）八幡野コミュニティセンター 19:00～20:41	31人

※ 上記のほか、令和7年7月1日から7月31日までパブリックコメントを実施しました。

（意見数：14人82件）

	質 問	回 答
1	スクールバスは必須だと思う 北中学区に近い南中学区の生徒など、バスに乗れる範囲を検討してほしい	交通手段として、基本的に路線バスの活用を考えています。バスに乗れる範囲は、北中学校の再編により、他の中学校へ通学することになった生徒のみとなります。
2	統合ありき、で進むのではなく、少人数でも特色ある内容で学校を維持するなど、維持するためには、という方向性で進むのはどうか？学校がなくなるイコール子育て世帯がいなくなり、中心部の空洞化が進む。地域の活動がどんどん難しくなり、こどもたちの体験が乏しくなってしまう。 閉校ではなく具体的には学びの多様化学校への転換はどうか？ 少子化が進むのは目に見えているが、減ってきた→減らすのではなく、こどもたちの多様な学びのために、伊東市はこう進むという道、方向性を考えていくべきなのではないか。	地域と連携し豊かな自然等の地域の特性を活かす学校を小規模特認校といいます。主に中山間地に位置した学校が多く、市街地にある北中学校が小規模特認校に該当することは難しいと考えます。 また、誰一人取り残さない教育環境を作るに当たっては、居場所をなくした不登校児童生徒のための学びの多様化学校も必要ですが、現段階においては、現状の北中学校の再編を最優先事項に考えています。
3	今年子どもが北中学校に入学しました。 市の計画では3年生の時に他の中学校へ転校になってしまいます。その計画であったのなら今年入学させないでほしかったです。 受験の大事な年の転校は望ましくないとします。 令和10年3月の廃校を希望します。	現1年生は、3年生になってからの他の中学校への転校による精神的負担を軽減するため、2年生になる際、指定校変更できるよう柔軟な対応を検討します。 閉校の時期は、全学年単学級となる令和9年3月を目途にしています。
4	令和9年を待たず、本年度1学期で廃校でいいと思います。 進学先は宇佐美中も含めて欲しいです。 伊東駅周辺からは宇佐美は徒歩で通学可能です。	本年度1学期での廃校は、条例の改正や教職員の人事異動等一定の時間が必要であることから、現実的に困難です。 進学先に宇佐美中を含めることは、生徒の選択肢が一つ増えることになるため、検討してまいります。
5	通学バスでしっかりフォローして貰えれば問題無いと思います	通学における交通手段は、基本的に路線バスの活用を考えています。
6	来年度、中学入学予定の子供がいます。 学区は北中ですが、現状や今後の状況を考え南中への指定校変更を希望しています。 夫婦共働きや部活動を理由にせず、閉校を理由に指定変更をできるようにしていただきたいです。	北中学校の閉校に伴う指定校変更については、柔軟に対応できるようにいたします。
7	現状の通学路ですら、安全が確保されているように感じていません。 十分な道幅はないし、柵もないので逃げる場所がありません。壁に挟まれて終わりです。 ただでさえ高齢ドライバーが多いのに、信用できませんし安心して送り出せません。 当たり前ですが、統合しても通学には困難なのでスクールバスは用意していただけますよね？ また、保護者が学校行事に参加する際の駐車場はきちんと確保できていることが前提でお話しが進んでいるのでしょうか？ 給食の無償化なんてどうでも良いので まずは子どもが安心して通える、親が快く携わることができる環境を整えて欲しいです。	・通学路の危険個所については、教育委員会へ報告をお願いします。土木事務所、警察、市で連携し、通学路合同点検にて確認、検証します。 ・通学における交通手段は、基本的に路線バスの活用を考えています。 ・学校行事に参加する際の駐車場の確保は、これから学校と協議してまいります。

	質 問	回 答
8	子どもが少ないので仕方がないが、北中を閉校しないでほしかった、残念。 決まっていたのであれば新聞に掲載されたときにすぐに説明してほしかった。北中生を減らすための策略だったのでは？と思った。現在北中在学中、これから中学生になる子どもの親としてとても不安だった。西小が統合する時にも決まったこと、と言われ従うしかなかった、振り回されていると感じている。ただ、納得せざるを得ないことだとは思ってます。 聞きたいことは、個人の自由で進学先を選べるのか？通学方法について説明してほしい。	・進学先は、学区を定めた上で条件により南中、門野中、宇佐美中を選ぶことができます。 ・通学方法は、基本的に路線バスの活用を考えています。
9	それではまず、人口減少に対する国の政策から一言文句を申し上げます。言ってもしょうがないのは百も承知です。ですが、言う場所もないので、せつかくの機会ですから、この場で言わせてもらいます。日本の総人口が減少していくのは、とうの昔から分かっていたはずです。私が中学2年生に進級する年は、当時一学年10クラスあった北中が、門野中学と分離した年でした。当時は生徒数が多かったのは確かですが、その私達の世代で、男女が結婚しても、子供の出生数の平均が2.0を上回らないのですから、人口の減少は等比級数的に減少していくのが専門家でもなくとも分かっていたはずです。国や自治体は、あたかも対策をうったかのような姿勢ですが、どれも付け焼き刃的な、対症療法的な政策でした。昭和的だ、戦前戦中的だ、と言われても、「産めよ、増やせよ」の根本精神の欠落した政策では、今日の人口減少は避けられなかったはずです。さすがに前出のスローガンでは時代錯誤、ハラスメント、個人の自由の尊重、と反対意見は多く出ると思います。そこは言葉を上手に選んで頂き、結婚して家庭を持つことは幸せである、子供や孫に囲まれる老後は幸せである、とゆう気運の醸成は必要であったはずです。八百屋の親父が、本当は子供に店を継いで欲しいのに、子供の前で、こんな商売儲からない、辞めた方が良い、と小さいころから聞かされたら、誰が八百屋を継ぎたいと思うでしょうか。親御さんたちが、子供の前でケンカばかりだったり、不仲であるのを見せられたら、誰が結婚生活に夢を抱くことが出来るでしょうか。欧米諸国も少子化が始まっている様ですが、それでもアメリカ映画を観ていると、子供を送り出す時、夫婦は仲良さげに肩を寄せ合っている絵面を多く見ます。そうやって子供たちの前で愛するべき家庭がある事の幸せを示していかなくては、この国の未来はありません。私の母親は昭和5年の生まれ、山形県の番地もないような田舎の出身でした。7人兄弟の3番目でした。本人も姉も隣村の同じ家に嫁りました。本人の母親は、その同じ家から婿をとって7人の子供を産みました。つまり、私の母の実家は、代々嫁も婿も、その家同士でやり取りしていたのです。母の姉は、結婚式当日に初めて結婚相手の顔を見たそうです。確かにこれは行き過ぎかもしれませんが、時代はその後お見合い、婚活パーティー、そして今やマッチングアプリ、とデバイスは変わっては来ましたが、若い男女が結婚するための方法論は無い訳ではなかったはずです。国が、もっと早い段階で幼児期からの教育として、上記の様な精神性を道徳の時間、修身の時間として子供達に植え付けていかなくては、今日の有様になる事は明白だったはずです。とかく社会が成熟してくると、子沢山は低所得者、知性の低い民度の家、と思われる風潮がある事は否めません。それでも出生率2.1を上回らないと国体の継続が不可能になる恐れがある以上、社会は婚姻後は2人以上の子供を持つ事が当たり前の様な雰囲気を持つべきであったと思います。不妊問題はここでは違う議論として避けます。言いたい事は、結婚は良いものだ、家族が多いと幸せだと感じるものだ、とゆう基本精神を幼い頃から刷り込んで欲しかった、とゆう事です。そこから先の選択は、今でゆう所の個人の人權の尊重であります。過日、イーロンマスク氏が発した言葉、このままでは日本は無くなってしまいます。私は本当にそう思います。ここ数日、ニュース等で散見する話題、近隣の某国についてです。私は確か10年位前になるかと思いますが、北海道ニセコの土地を、某国の人が買った、とゆうニュースに衝撃を覚えました。その後某国の人が日本のあらゆる土地を買い漁り、日本の会社を買い、ついには親子を送り込んで子供達を日本の学習塾に通わせ、日本の生活保護を受けて、日本の最高学府に多数入学している…これは私は某国による、日本への侵略が始まっていると思っています。何もミサイルや爆弾などを使わなくても、某国はこの国の資本を持ち、国民を住まわせて、静かに侵略をはじめていると。本当に頭にきます。この国が私のひ孫の代に某国になってしまう位なら、さっさとアメリカの51番目の州に入れてもらって文化の自治権だけ持てた方が余程幸せです。なので、いま全国で起きている、この学校再編を契機に、是非伊東市から根本的な少子化対策を発信して欲しいです。結婚したい、とゆう男女、是非伊東市に来て結婚相手探しの特区に住んで下さい。真剣な結婚相手探しのマッチングアプリを若い人たちに用意してあげて下さい。社会は、出会いの場がアプリであって、子沢山であるファミリーを賞賛してあげてください。子供が出来ない夫婦には、特別養子縁組の制度の良さを、ガンガン発信して下さい。この国の存続のために、期限を切って定量的な目標を立てて下さい。何も今現在結婚されていない方を批判している訳ではありません。これからの国の教育のあり方についての思いです。少し本題に近づけます。本来の学区以外に出る制度、どこかで見直して欲しかったです。北中に進学するはずの学区の生徒さんが、やりたい部活動がないからと南中に行くようになってから、どんどん北中から生徒さんが少なくなり、教職員の方の人数がへり、益々部活動の数が減り、と魅力が失われていき、負のスパイラルが起きていたと思います。今でこそ外部部活動方式や、部活動そのものの存在を自由参加式にするなどしていますが…そうなるとう当初から北中廃校ありきの発想だったのかとうがった見方もしてしまいます。トータルの人口が減るから廃校が増えていく事は仕方ないとは思いますが、何か後手であった感覚は否めません。 最後に今回の再編の件について一言申し上げます。西小学区に住んでいる生徒さん達が安心して安全に門野中、南中に通学できる様、スクールバスの運行をお願い致します。	・通学方法は、基本的に路線バスの活用を考えています。 ・門野中学校方面は、路線バスの本数が少ないため、登校時の交通手段は伊東小学校のスクールバスの併用を検討してまいります。下校時の交通手段は、路線バスの増便をバス業者と交渉してまいります。
10	反対 教員の数足りず、専門外の教員が教えることになるそうですが、そのことより最後の1年を慣れない環境に置く方が教育上良くない気がします。専門外の科目を受け持つことになる先生には申し訳ありませんが最後まで北中に通わせていただきたいです。	
11	中学校より先に小学校が統合されることに違和感があったので、北中閉校には賛成です	
12	現在小学生6年の子供を持つ親です。 来年の進学について、北中を検討していますが どのくらいの人数が入学されるのか不安です。 あまりにも少ない状況ですと、学校行事や日々の生活がどのようなになるか、イメージがあれば参考にしたい。	生徒数が極端に少なくなった場合は、体育祭や文化祭、修学旅行等の学校行事における集団活動・行事の教育効果が下がったり、班活動やグループ分けに制約が生じてきます。
13	令和7年の新入生が11名との事で、中学生生活もその人数では困ることも多々あると思います。 令和9年閉校を早めて8年にしても良いのでは？	令和8年度の閉校は、条例の改正や教職員の人事異動、事務引継ぎ等一定の時間が必要であることから、現実的に困難です。

北中学校再編に伴う住民・保護者説明会資料

	質 問	回 答
14	今年度新入生が11名と予想をはるか下回る人数。コレでは中学生生活で支障も出てくると思う。 統合を1年早めてやってもいいのではないか？	令和8年3月（令和7年度）の閉校は、条例の改正や教職員の人事異動、事務引継ぎ等一定の時間が必要であることから、現実的に困難です。
15	子どもにどちらの中学校に通いたいかをたずねたところ、まだ決めていないそうです。 こちらは情報がないので、まずはお話をお聞かせください。 また、自分も含めて運転が出来ない保護者もいるので、通学方法がどの様になるのか不安です。	通学方法は、基本的に路線バスの活用を考えています。
16	市でスクールバスを運行すべきだと思う。 東海バスは使えないからダメだ。	全国的にバス運転手の担い手不足であることや一度に輸送できる人数のことを考えますと、市で運転手を雇用し、スクールバスを運行することは困難です。
17	今年入学した一年生が卒業する令和10年の3月に閉校にすべきだと思います。	義務教育においては、高校と異なり閉校が決定していても生徒の募集を中止することはできません。どの時期に閉校したとしても、必ず影響を受ける年代が出てしまいます。その影響による世帯負担を軽減していくことが教育委員会の果たすべき役割であると考えております。
18	時代の流れで仕方がないと思います。 北中は良い所がたくさんあるので残念です。 バス代がかかるので、これから部活の地域移行もあり交通費が負担になると思います。 来年中学入学ですが、門野か南かで検討しています。	通学方法は、基本的に路線バスの活用を考えています。
19	そこまで行く交通費の負担が気になります。スクールバスの運行があるのなら、構いません。	通学方法は、基本的に路線バスを活用し、定期代の補助を考えています。
20	特にありません	
21	通学がとても長く、通学手段に限られる。 とにかく遠い。 スクールバスがあれば利用したい。 部活動がどうなるかわからないが、帰宅時のスクールバスも利用したい。 門野中と南中の選択は児童が決められるのか？ 西小、北中と母校がなくなり、子どもたちの気持ちはどうなのか？	・通学方法は、基本的に路線バスの活用を考えています。 ・門野中と南中の選択は、家庭（生徒）でできるようにします。 ・母校がなくなり、寂しい気持ちは分かりますが、子供の学習の場としての機能を高めていきたいという教育論を第一に考えてまいります。

北中学校再編に伴う住民・保護者説明会資料

	質 問	回 答
22	西小の時もそうでしたが、西小→北中を想定して家を建てていますので、通学に必要なスクールバス、もしくは路線バス通学の補助をしてもらいたいです。 また、在学中に変更になる生徒には、変更後の体操着、指定がある備品は支給してもらいたいです。	・交通手段として、基本的に路線バスを活用し、定期代の補助を考えています。 ・指定がある備品については、公費にて支給すること検討します。
23	通学バスがあると良い。	交通手段として、基本的に路線バスの活用を考えています。
24	もし、南中学校に行くとなると、通学路が暗く1人で歩かせるには心配である為、改善希望です。瓶山から南中に行く細い道	瓶山から南中に行く細い道は、現在通学路でなく、今後も通学路に指定する予定はありません。安全な通学経路を選択し、通学してください。
25	子供が少ないので、閉校し、どちらか選ぶので良いと思います。出来れば、小学校のようにバスが出ると助かります。	交通手段として、基本的に路線バスの活用を考えています。
26	南中学校	
27	人数減少によるために閉校すること理解しています。我が家は新一年生で切り替わるのでよいのですが、途中の2・3年で切り替わる子供たちは思春期もありますので、どんなフォローができるのかを関係各所でお願いいたします。閉校時に3年生となる現一年生は、北中学校というよりも南中学校分校として一緒に活動ができないのかどうか。リーダーとして素質をもつ現北中一年生の子がいるなら、統合でつぶされないといいなと、知識がない保護者の立場では心配です。	・閉校により転校を余儀なくされる生徒については、学校間での交流を考えております。具体的には、授業、部活、生徒総会等があります。学校長とさらに協議し、その他の交流方法も考えてまいります。 ・分校の規模は、学校教育法施行規則に中学校は2学級以下と規定されているため、北中学校が南中学校分校となるのは困難です。
28	北中の存続を希望。南中も門野も納得いかない。	
29	人数の少なさから、仕方ないと思う。統合した伊東小学校も、北中、南中、門野中学区が集まっているので、小学校から中学校への接続を考え、2つの中学を選ぶのは良いと思う。 また、学区できっちり区切るのではなく、家庭で選べるというのが良いと感じた。	

北中学校再編に伴う住民・保護者説明会資料

	質 問	回 答
30	・住んでる地域で割り振られるのではなく、希望できるということでしょうか。 ・通学補助、スクールバス、バスの本数増加等について知りたいです。休日も部活がある場合、学区外だと徒歩通学が大変だと思うのです、休日の通学手段についても検討をしていただきたいです。	・住んでいる地域で指定校が割り振られますが、令和９年度入学・編入学の北中学区の生徒に限り、希望できることを検討しています。 ・通学補助は、定期代の支給を検討しています。交通手段は、基本的に路線バスの活用を考えており、バスの本数については、バス業者と協議してまいります。
31	第一に考えるべき事としては、今北中に通っている生徒が学校を変わらざるを得なくなることによる不利益が生じないようにすることと考えます。文面では「門野中か南中かを選ぶ」とありますが、この点については保護者の希望によりどちらでも可能と捉えてよいのでしょうか。学区の新しい区切りがはっきりしませんので、該当する1年生の生徒、来年度北中に入学する予定の児童についての「指定校」を明確にする必要があるように感じます。その上で今回の流れの中で「指定校変更許可制度」の「許可基準１７ その他」として変更の希望が認められるかどうかを早期に確定し、周知すべきと考えます。「3年生になってから転校」でなく、希望すれば令和8年度より転校ということを見視野に入れることも必要と考えます。 例年中学校では1年生の頃から修学旅行の見積もり等を取り、日程等を確定していきます。北中の1年生は11名と多い人数ではありませんが、南中・門野中に進学をするのであれば大まかな人数を見積もる必要があります。また、北中は3年生になった時の修学旅行については「動かない」という選択になると思います。 仮に計画が実現した際、北中の校舎をどのように活用していくかも検討がなされるものと思いますが、限られた予算や人的支援を有効に活用できるような検討も必要ではないかと感じます。 2年後に北中を閉校する計画が実行されるのであれば、事務職員等に大きな負担がかからないように備品等の整理についてもロードマップの作成が必要と考えます。また備品の移管などについてもこれまでの統合の際に見られた「早い者勝ち」のような形でなく、有効に活用できるような仕組みの検討も合わせてお願いしたいと思います。	・伊東市立小中学校の通学区域に関する規則を一部改正し、規則上では現住所による指定校を設定します。その後、教育委員会が定める指定校変更許可基準にあるやむを得ない事情がある場合を適用し、現北中学区の生徒に限り、学校を変更できる柔軟な対応を検討してまいります。
32	通学が気になります。 バスが出るのでしょうか？ どのような方向性になるかお聞かせ頂きたいです。 またお伺いするのが難しいので、Zoomなどで説明会聞きたいです。 宜しくお願い致します。	通学は、基本的に路線バスの活用を考えています。
33	学校再編に関し、保護者の経済的な負担等についてどのように扱うのかの検討をお願いしたい。 ・北中学校から南中・門野中に転出する際に必要となるもの ①名札 ②体操着・ジャージ ※体操着・ジャージについては「北中のものを使用してもよい」とすることも考えられると思います。 ・登下校時のバス代等の補助 伊東小の様子や中学生の発達段階を考えると路線バスの使用が望ましいのではと思いますが、どのようにしていくのかを早い段階での検討をお願いしたいと思います。	・北中で使用していた物が使用できる場合は、そのままの使用をお願いしますが、新たな学校で必要な物については、保護者負担ではなく、公費負担を検討してまいります。 ・登下校時のバス代は、定期券代の支給を検討してまいります。 ・通学は、基本的に路線バスの活用を考えております。
34	家から学校が遠くなり、バスなどで通わなければいけなくなります。 本数の少ない便で、行きも帰りも親の負担なく通うことができるのでしょうか？ また、行事の時など親が参加する場合、駐車場などの用意はしてくれるのでしょうか？ どんどん住みにくい町になっていき、どんどん市外に流れる家族が増えていくのではないのでしょうか？ バス代は、伊東駅から三島まで通う定期代より高いと聞きました。さらに本数がない。親の送り迎えありきで統合を考えられたら働きません。 門野中を選択した場合、バスなどでいく手段はあるのでしょうか？	・交通手段として、基本的に路線バスの活用を考えています。ご指摘のとおり、門野中学校方面の路線バスの本数は少ないので、バス業者と協議をしていきます。 ・学校行事に参加する際の駐車場の確保は、これから学校と協議してまいります。
35	今年の1年生が3年生になる際に学校を変える計画ですが、生徒向けの説明会は実施される予定でしょうか。学校で行うにしても教育委員会主催が相応しいと考えます。また夏休みに入ると新年度の学級編制に関する調査が始まります。正式な方針が定まるのが夏休み中となるかもしれませんが、現小6.中1には令和八年度に向けてどのような選択肢(従来通りの指定校か別の基準になるのか等)を示すことが必要と考えます。	・閉校となれば、教育委員会として生徒向けの説明会又は意見交換の機会を設けることも考えております。 ・令和８年度からの学校の選択については、なるべく早い時期に決定すよう調整いたします。

北中学校再編に伴う住民・保護者説明会資料

	質 問	回 答
36	共働き世代が多い時代です。 親に負担をかけず、自ら通える環境にあるのでしょうか？ 小学校、中学校もなくなってしまう市街地はどうなるのでしょうか？	・ 交通手段として、基本的に路線バスの活用を考えています。
37	なし	
38	少子高齢化・人口減少が進む中で、市内の小中学校が統廃合される事は時代背景を鑑み仕方ない事だと思っはいます。 学校が閉校となった後の、地域の状況も検討して頂けたらと思います。	学校が閉校になった際は、一定の期間経過後に、地域住民に対しアンケートを実施し、地域の状況を検証いたします。
39	・ 北中、南中、門野中、それぞれの学校説明会を開いてほしいです。 （新聞や学校HPで部活動の実績や行事の様子しかわからないため） ・ 今年度2学期から火曜日の6時間目がなくなりますが、今後こういった流れが進むのでしょうか？ （小学校統合後、登下校の時間の影響で、友達との時間、習い事、家庭での学習に大きく影響があったと感じております。今後、南中、門野中に通うとなった場合の通学時間、また部活動の先行きを考えますと、家庭での取り組みの影響や負担が大きく出るのではないかと想像しますし、前もって準備したい家庭も多いのではないかと思います。）	・ 進学先を考慮する上での学校説明会は、各学校長と協議してまいります。 ・ 学校日課については、各学校長の判断で実施しており、教育委員会として把握しておりません。